

NPO 法人 都市災害に備える技術者の会

ニューズレター issue 31



都市災害に備える技術者の会事務局：〒651-1432 兵庫県西宮市すみれ台3-1（太田ジオリサーチ内）
TEL:078-907-3120 FAX: 078-907-3123 e-mail: office@toshisaigai.net http://www.toshisaigai.net

「都市災害に備える技術者の会」に入会して
(株)タニガキ建工 野上 哲也

1.自己紹介

この度入会しました「野上哲也」と申します。まずは自己紹介をさせていただきます。



- 名前：野上 哲也（のかみ てつや）
- 年齢：47才
- 住所：和歌山県紀の川市貴志川町（たま駅長で有名な和歌山電鉄の沿線です。）
- 家族：妻，息子，娘の4人家族。
- 趣味：キャンプ等アウトドアが大好きです。
- 職業：建設部門の技術士です。道路計画・設計を専門としています。
- 勤務地：和歌山県紀の川市の総合建設業「タニガキ建工・調査設計部」に勤めています。

2.道路計画・設計

次に私の専門分野である道路計画・設計についてお話しさせていただきます。

2-1 道路の区分

道路は、「道路構造令」により、次の4種に区分されています。

	地方部	都市部
高速自動車国道及び自動車専用道路	第1種	第2種
その他の道路	第3種	第4種

表-1 道路区分

更に、計画交通量（設計する道路の1日あたりの往復合わせた交通量）により第1種は4級、第

2種は2級、第3種は5級、第4種は4級に区分されます。例として第3種道路の区分を示します。

計画交通量 (百台)		200 以上	40~ 200	15~ 40	5~ 15	5 未満
一般 国道	平地部	1級	2級	3級		
	山地部	2級	3級	4級		
都道 府県 道	平地部	2級		3級		
	山地部	3級		4級		
市町 村道	平地部	2級	3級	4級	5級	
	山地部	3級		4級		5級

表-2 第3種道路の区分

2-2 道路の構造

道路の構造は、設定された種級区分と設計速度（車両が安全快適に走行できる速度）によって、計画・設計に必要な道路の車線数、幅員、曲線半径、勾配等の要素が決定されます。例として第3種道路の縦断勾配（上限値）を次表に示します。

		設計速度	縦断勾配
第3種	普通道路	80km	4%
		60km	5%
		50km	6%
		40km	7%
		30km	8%
		20km	9%

表-3 第3種道路の縦断勾配(上限値)

3.生活道路の計画・設計

私は、説明させていただいた道路種級の中で第3種4級~5級のいわゆる「生活道路」の計画・

設計を得意としています。低規格であることから簡単にできあがるように思われますが、次の特徴があり高規格道路とは違った難しさや、やりがいがあります。

- ・歩行者や自転車を優先する。
- ・家屋や農地等へのアクセスを重視する。
- ・地域の生活スタイル、習慣に合わせる。
- ・その他

4.今後の抱負

私のふるさとである和歌山県は、南海トラフ巨大地震による津波で大きな被害が発生すると予想されています。しかし、避難道路や防災道路の整備は完備に至っていません。これらの道路は、地域の人々がその機能を十分に理解し有効に活用できるものでなければなりません。私は、これらの道路整備に関して、得意とする生活道路の整備に関する知識や経験を生かしたいと考えています。そのためには、道路分野を超えた幅広い防災に関する知識が必要です。

「都市災害に備える技術者の会」のみなさまと活動をともにし、自己研鑽していきたいと思っています。

みなさまよろしく申し上げます。

以上

第40回研修会 防災講演会のご案内
「災害時応援受援体制を考える～受け入れる側の受援計画と体制整備」
木村玲欧先生（兵庫県立大学）

12月19日(土)に兵庫県立大学環境人間学部の木村玲欧准教授をお招きして「受援」というキーワードを通し「大規模災害時における受援の課題と対策」についてご講演いただきます。



主催：NPO 法人 都市災害に備える技術者の会

共催：日本技術士会近畿本部建設部会

日本技術士会近畿本部防災研究会

泉南市防災技術者の会

日時：平成27年12月19日(土)

13時30分～16時30分

場所：大阪市北区野崎町5番9号

読売新聞大阪本社「ギャラリーよみうり」

電話：06-6361-1111

申込は下記のURLの申込書でお願いします。

<http://toshisaigai.net/event/20151219kimura.pdf>

【講演概要】

大規模災害時には、災害対応側（被災自治体側）の対応能力や資源を大きく超えるような業務が発生します。このような場合には、応援する側（応援自治体側）が「適当に見繕った」「自分が供出できる」人的・物的資源を一時的に供給するだけでは上手くいきません。応援を受け入れる側（被災自治体側）が、災害の規模を把握し、自団体で対応できるかどうか（応援要請が必要かどうか）を早期に判断したうえ、具体的な情報を発信していく（応援を要請する）ことが必要になってきます。今回の防災講演会では「受援」について考えます。兵庫県はこれまでの災害教訓をもとに受援の課題と対策を整理して、受援のあるべき姿を「災害時応援受け入れガイドライン」として2015年4月にまとめました。私が本検討会の委員長を務めていたこともあり、その内容について具体的に紹介していきたいと思えます。また、組織間連携のためには一元化した災害対応体制も必要であり、近年にまとめられた危機管理体制の国際標準「ISO22320（社会セキュリティ緊急事態管理—指揮命令のための要求事項）」についても紹介できればと考えています。

12月5日時点で約30名の申込を受け付けていますが、当NPO外の自治体職員の方やマスコミの方が技術士会関係者の方が多く、主催者側がやや少ない感じですが、ふるってご参加ください。

なお、CPDの証明書の必要な方には、受講証明書をお渡ししますので、当日お申し出ください。

防災一口メモ 地区防災計画

地区防災計画が施行された背景：

平成26年4月1日より地区防災計画制度が施行されました。防災計画と呼ばれるものでは、これまで国レベルでの対応をまとめた防災基本計画、都道府県及び市町村レベルでの地域防災計画がありましたが、東日本大震災では、自助、共助、公助があつて大規模に対する対応が強く再認識されました。その教訓を踏まえて、制定されたのがこの地区防災計画制度です。

地区防災計画の特徴：

地区防災計画とは、市町村内の一定の地区の居住者及び事業者が共同して行う当該地区における自発的な防災活動に関する計画です。この地区防災計画と市町村レベルの地域防災計画が連携することにより地区の防災力を向上させることを目的としています。

地区防災計画は、以下のような特徴を備えています。

1. 地域コミュニティ主体のボトムアップ型の計画

地区居住者等により自発的に行われる防災活動に関する計画であり、地区居住者等の意向が強く反映されるボトムアップ型の計画。

2. 地区の特性に応じた計画

都市部のような人口密集地、郊外、海側、山側、豪雪地帯等あらゆる地区が対象。各地区の特性（自然特性・社会特性）や想定される災害等に応じて、多様な形態とることができるように設計されており、計画の作成主体、防災活動の主体、防災活動の対象である地域コミュニティの範囲、計画の内容等は地区の特性に応じて、自由に決めることが可能。

3. 状況別の防災活動

平常時、発災直前、災害時、復旧・復興期の各段階で想定される防災活動を整理すること、そして行政関係者や学識経験者、消防団、各種地域団体、ボランティア等との連携が重要。

4. 継続的に地域防災力を向上させる計画

区防災計画については、単に計画を作成するだけでなく、計画に基づく防災活動を実践し、その活動が形骸化しないように評価や見直しを行い、継続することを重要視。

自助、共助、公助を実現する防災の切り札的存在：

自助、共助、公助の重要性はいまさら言うまでもありません。しかしながらこれまでは、各地域の主体者が行政機関と連携がなされないまま活動している場合も多く、単体としては活動していてもそれが面的な効果は少なかったことも事実でした。それを今回、県や市町村レベルの地域防災計画に取り組むことで、行政機関とも連携が図られ、より実効的な防災計画が策定されることでしょう。これからポータルサイト(※1)では作成された地区防災計画を順次公表していくようです。どのような地区(地域)の防災計画が公表されるのか楽しみです。

※1 内閣府、地区防災計画ポータルサイト
(<http://www.chikubousai.go.jp/>)

神戸市の大規模盛土造成地の変動予測調査 結果が公表されました

2006年に宅地造成等規制法が改正され、大規模盛土造成地の地震時滑動崩落現象を「予測」し「対策」する仕組みができました。この法改正に当たっては、当NPOの会員の皆様もいろいろな立場で関わられました。

この事業の発端は、1995年の兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）です。このため、その被災地である神戸市は、滑動崩落現象の模式地とでも言うべき位置づけにあります。

公表データは、下記のURLにありますので、興味のある方は参照してください。

http://www.city.kobe.lg.jp/safety/prevention/preparation/takuchi_taishin.html

【概要】

変動予測調査は、国の「大規模盛土造成地変動予測調査ガイドライン」に基づき大規模盛土造成

地の「抽出」及び「現状把握」と「変動予測」を行いました。

大規模盛土造成地の変動予測調査 変動予測調査の結果、本市において405箇所の大規模盛土造成地を抽出しましたが、滑動崩落により大きな被害が生じる恐れがないことが分かりました。このため本調査による「造成宅地防災区域」の指定等を行いません。よって、大規模盛土造成地の変動予測調査を終了します。

神戸市のほかにも、西宮市やその他の兵庫県各市町村の盛土マップも公開されました。大阪府や奈良県や京都市の盛土マップもすでに公開されています。

当 NPO 事務所は西宮市の盛土マップでは、谷埋め盛土となっています。造成時の 1/500 の計画図を見ると、この盛土マップ通り盛土となっています。



造成時の 1/500 図面と NPO 事務所の位置



西宮市の盛土マップと NPO 事務所の位置
(NPO 事務所は谷埋め盛土内にあります)

事務局 だ よ り

- ◆ニューズレターのバックナンバーは、ホームページ (http://toshisaigai.net/newsletter/newsletter_index.html) にアップロードしています。
- ◆ワーキンググループ活動の例会の案内は、ホームページにも掲載しますので、ご興味のある方は参加してください。
- ◆あらためてご案内いたしますが、振替用紙が届きましたら 2015 年度会費の納入をよろしくお願ひいたします。(正会員 5000 円です)
郵便局 00990-1-162816 加入者名 都市災害に備える技術者の会
三井住友銀行 藤原台支店 普通預金 7566003 特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会
(2年間連続で未納の場合、自動的に退会扱いとなりますのでご注意ください。)
- ◆住所変更・メールアドレス変更等はできるだけ早く事務局にお知らせください。
書式等は、ホームページ <http://toshisaigai.net/join/join.htm> にあります。
- ◆メーリングリストが届かない方は、事務局までお知らせください。またメーリングリスト不要の方は、毎月初めに届くメーリングリスト備忘録に従って登録を外してください。
- ◆研修会講師の心当たり、あるいは研修内容の希望がありましたら、事務局 (office@toshisaigai.net) までお知らせください。
- ◆ニューズレターの原稿を随時募集いたします。お気軽に事務局までお送りください。